

<p>四月一日 土曜日 開遙 小一 門殿屋</p>		<p>発行所 〒793-8555 愛媛県西条市西田甲797番地 石鎚神社・石鎚本教 電話 (0897) 55-4044</p>
		<p>3・4月号</p>



道

二月、石鎚敬神婦人会の本部役員総会が開催されました。実に三年ぶりの開催でした。皆様のお顔を久し振りに拝するひと時でもありました。

やはりお顔を合わせて会話して、お互いに表情が見られることは大切なのです。接する事の大切さ、人と人との繋がりとはいすばらしいと思える一日でした。

この世の全てには教えあり。今の世情が大切な事を教えてくれたと思えます。

本社では「春の例大祭」の準備を進めています。祭儀は例年通り厳かに、神賑行事も少しずつ元の姿に戻します。大神様に皆さまのお顔をご覧戴きましよう、全国のお仲間ともお会いしましょう。そうして今の世情を過去のものにしてゆきましよう。そしてその後には「お山開き大祭」。今年こそは全てを例年の姿に戻しての御大祭を。お山開き大祭の従来の姿を取り戻す。ご参拝をお待ちしております。

武智、拝



令和五年 石鎚神社

春季例大祭 祭典案内

四月四日(火)

午後五時 春季例大祭 前夜祭

四月五日(水)

午前十時 春季例大祭 (さくら祭り)

正午頃 神輿渡御

社務所前到着後、餅投げ

午後一時頃 御旅所祭 (石鎚山駅前)

石鎚敬神婦人会 踊り奉納

西田獅子舞保存会 獅子舞奉納

本殿著御後 御神像拝戴

拝戴後、本殿前にて餅投げ・福木投げ

奉納神賑行事 (境内にて)

奉納演芸大会

※男性信徒の皆様も御神輿渡御のご奉仕をお願いします。
 ※敬神婦人会花神輿ご奉仕の皆様へ ハチマキ持参、
 上下白の服装、靴下や靴も白でご奉仕お願いします。

◎お知らせ◎

春のご大祭

子供みこし 小六までの男の子

お稚児さん 小六までの女の子

四月五日(水曜日) 大募集!!

来る四月五日の春季例大祭にて、こども神輿のご奉仕、お稚児さんのご奉仕を募集します。皆様のお子様、お孫様のご奉仕を是非お願いします。

(保護者同伴・雨天中止)

子供みこし

対象

◇小学生の男の子。服装自由。

集合日時・場所

◇四月五日午前十時より

◇西条市西田 西田自治会館

(石鎚神社本社前、石の鳥居横)にて受付開始。

◇正午前後、御本殿より出発。

◇奉仕内容

◇石鎚神社の神輿に続き、子供みこしの渡御運行をお願いします。

◇担当

◇西田自治会・敬婦橘支部

お稚児さん

対象

◇四才より小六までの女の子。

集合日時・場所

◇四月五日午前十時より

◇西条市西田 西田自治会館

(石鎚神社本社前、石の鳥居横)にて受付開始。

◇正午社務所前より出発。

◇奉仕内容

◇自治会館にて着替え、石鎚神社の神輿の渡御運行のお供をお願いします。

◇担当

◇石鎚敬神婦人会、橘支部

◇お願い

◇白靴下、白ブラウスをご用意下さい。

◇服装に限りがありますので、先着順にてお許し下さい。

◇事前の受付は出来ません。

◇私服で行列へ参加して頂いても結構です。

四月六日(木)

午前十時

祖霊殿 春季例大祭・合祀祭

祖霊殿にて春季例大祭を斎行し、並びに秋季例大祭以降に届出のありました物故者を新祭神として合わせ祀る合祀祭を行います。

過去三年間に合祀されました遺族の方へご案内申し上げます。ご参拝をお願いします。

四月七日(金)

午前九時

春季例大祭 後宮祭

四日・五日は石鎚神社会館

宿泊無料(定員七十五名)

●神社会館の宿泊は無料(先着七十五名)です。

法令に基づく名簿保管の為、事前に申込下さい。

申込が無い場合は宿泊ができない場合があります。

●食事時のアルコール提供は控えさせていただきます。

●世情により、変更する場合がございます。

神社会館 ○八九七―五五―四一六八

担当 荒井

令和五年 皇紀二六八三年 正月 御神像拜戴者御芳名

新年を迎え、口之宮本社・中之宮成就社の各お社では、初詣にあわせ、石鎚神社の特殊神事であります御神像拜戴や新春の特別祈禱を受ける人々で賑わいました。

本年はコロナ対策に留意しつつ各所の準備、対応を以前の形に戻し、多くの参拝者とともに年明けを迎えることとなりました。

石鎚大神様の御神徳を十二分に賜り、この一年が素晴らしい年になります様、心よりお祈り申し上げます、御神像拜戴の皆様のご芳名を紹介いたします。

(順不同・敬称略)

中宮成就社

正月三ヶ日

一月一日 香川県坂出市 岩中水産

岩中 高夫 十名

一月三日 愛媛県今治市 石鎚本教睦美教会

田窪 一善 十名

(以上、二件・敬称略)

口之宮本社

一月一日 広島県福山市御幸町 中津原遥拝所

高原 政明 三十五名

愛媛県今治市吉海町 睦美教会

田窪 一善 五十名

愛媛県西条市玉之江 丹下建設工業(株) 丹下 喜代範 二十名

広島県尾道市向島町 西原 善久 九名

香川県高松市鬼無町 妙伝遥拝所 築地 一書 二十四名

愛媛県伊予郡松前町 伊予市伊予郡遥拝所 水口 泉 二十名

一月二日 愛媛県西条市河原津 吉田教会

越智 汀祐 五十名

広島県福山市沼隈町 山南嘉和教会 岡本 嘉孝 二十名

香川県丸亀市綾歌町 導不動院遥拝所 岩崎 光照 百十八名

大分県大分市畑中 宮部 良三 二名

一月三日 香川県高松市三条町 高松山川組

山口 謹司 三十名

一月四日 山口県大島郡周防大島町 山口大島教会

中原 輝昌 十二名
一月五日 広島県福山市柳津町 仁愛の会 宮岡 幸子 十二名

高知県高岡郡津野町 葉山教会 岡村 信一 三十名

香川県高松市香南町 和泉 良美 四名

愛媛県大洲市肱川町 龍雲山肱川教会 沖野 和義 六十名

一月六日 愛媛県西条市周布 (有)一色石材工業所 一色 章二 十二名

高知県吾川郡仁淀川町 吾川遥拝所 片岡 義親 五名

一月九日 大分県大分市戸次 大分金子遥拝所 金子 良美 十四名

大分県別府市鶴見町 初島 幸成 六名

大分県敬組合 浦松 傳 五十五名

福岡県北九州市戸畑区
丈納建設(株)

河野 史也

三名

一月十四日

愛媛県西予市宇和町
宇和山田講社

三好 秀樹

七十五名

大分県大分市永興
大分市教会

長澤 講三

十七名

一月二十二日

広島県尾道市因島洲江町
箱崎会

箱崎 庵治兼

三十名

高知県四万十市有岡
中村遙拝所

森田 茂

十名

香川県高松市香川町
讃岐神大遙拝所

大高 久呼 二百四十二名

一月二十九日

高知県高知市大津
初心遙拝所

山崎 重寿

八名

(以上、二十八件・敬称略)

奉納

「いしづち泣き相撲」

お知らせ

今般の世情を鑑み、片男波親方と相談致しておりましたが、当年五月の開催は延期、秋場所開催を検討致しております。

新たに進展がございましたら当社ホームページにてお知らせ致します。

何卒ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

令和五年一月十五日

月次祭に併せ長寿祭齋行

本年令和五年に数え歳八十歳(傘寿)を迎えられる石鎚神社先達・石鎚本教師・石鎚敬神婦人会の方々の長寿を祝う祭典を行い、該当者の皆様のご健勝を御祈願致しました。

敬神婦人会

○福岡県北九州市

敬祥支部 神宮寺恵美子

○愛媛県東温市

中予支部 鵜久森敦子

○愛媛県宇和島市

直轄支部 山下 光子

○愛媛県上浮穴郡

上浮穴支部 渡部 幸子

○愛媛県上浮穴郡

上浮穴支部 日野マス子

○愛媛県上浮穴郡

上浮穴支部 速水キクエ

○愛媛県西条市

橘支部 工藤 春子

長寿者御芳名

(順不同・敬称略)

○広島県福山市

元老 金尾 美苗

○愛媛県宇和島市

名誉大監長 山下 泰作

○高知県高知市

副取締 川上二士恵



令和五年度 石 鎚 社 大麻頒布 御世話人御芳名

新しき年、神棚に奉斎する石鎚神社大麻の頒布に際し、御尽力をいただいております。お世話人の皆様へ感謝を申し上げます。順不同・敬称略では御座いますが、御芳名を掲載させていただきます。

本来ですと、お世話人全員の御芳名を掲載すべきでは御座いますが、紙面の都合上、大麻五〇体以上の御世話をお願いいたします。大変恐縮ながらご了承下さいますようお願い申し上げます。

【担当 勝本】



- ◎八〇〇体 香川県 讃岐神大遙拝所 大高 久呼
- ◎五〇〇体 高知県 葉山教会 岡村 信一
- ◎四五〇体 香川県 導不動院遙拝所 岩崎 光照
- ◎四〇〇体 福岡県 福岡神和教会 佐伯 良子
- ◎三五〇体 霊威教会 中西 幸男
- ◎三〇〇体 睦美教会 田窪 一善
- ◎二五〇体 福岡県 九州石鎚大権現社 須堯 宣行
- ◎二〇〇体 愛媛県 神明遙拝所 大西サカエ
- ◎一八〇体 山口県 山口県 鐘ヶ淵教会 山田 春治
- ◎一六〇体 広島県 中津原遙拝所 高原 政明
- ◎一五〇体 高知県 和食教会 安岡桂一郎
- ◎一四二体 大分県 大分県 今治越智崇敬組合 小林 敏朗
- ◎一二〇体 愛媛県 大分石鎚教会 江藤 秀人
- ◎一一〇体 愛媛県 宇和教会 山内 康治
- ◎一〇〇体 高知県 佐川教会 片岡 抄織
- ◎九〇体 土佐山田遙拝所 長瀬 和夫
- ◎八〇体 土佐野市教会 出原 孝文
- ◎七〇体 愛知縣 愛知遙拝所 澁谷恵美子
- ◎六〇体 大阪府 大阪府 大阪教会 湊 喜美子
- ◎五〇体 愛媛県 愛媛県 愛媛県 矢部三恵子
- ◎四〇体 愛媛県 愛媛県 愛媛県 梅原 康孝
- ◎三〇体 愛媛県 愛媛県 愛媛県 三山 節子
- ◎二〇体 愛媛県 愛媛県 愛媛県 深川 健二
- ◎一〇体 愛媛県 愛媛県 愛媛県 宮脇 櫻
- ◎〇体 愛媛県 愛媛県 愛媛県 帯刀 康男
- ◎〇体 愛媛県 愛媛県 愛媛県 龍雲山脇川教会 沖野 和義
- ◎〇体 愛媛県 愛媛県 愛媛県 吉田教会 越智 汀祐

福岡県 西条協和教会 秋山 一幸

門司教会 加藤 保彦

群馬県 ◎六五体 岡山県 中臣 齋

宝光山関東石鎚教会 富田 直幹

◎九〇体 山口県 ◎六一体 山口県 佐々木順子

山口県 大島教会 中原 輝昌

香川県 ◎六〇体 愛媛県 岡中 功

讃岐石鎚遙拝所 高木 康二

◎八〇体 大分県 山口 義隆

大分県 姫野 昌訓

別府神仰会遙拝所 浦松 大八

広島県 足摺岬教会 中澤 幸孝

神畑遙拝所 松本 光子

神田山教会 三吉 真司

◎七五体 徳島県 脇町遙拝所 藤本 敏男

愛媛県 ◎五〇体 愛媛県 神野 武夫

伊予市伊予郡遙拝所 水口 泉

◎七〇体 瀬戸遙拝所 神野 武夫

山口県 山口県 橋本 賢治

防府教会 山中 將史

大分県 広島県 初谷 忠彦

愛媛県 備後南教会 田頭 規生

直轄大教会 入江 仲明

因島七洋遙拝所 箱崎 信雄

◎五〇体未満 一〇七名の皆様

順不同・敬称略 (二月三十一日現在)

大阪府 瑞明遙拝所 西川 昌宏

高知県 岡山山教会 筒井 道晴

土佐嶺北教会 永野 武夫

倉敷中央遙拝所 平松 史朗

大谷山講社 柳本 正勝

京都府 福岡田川教会京都遙拝所 三宅 秀樹

大分県 大分千歳遙拝所 阿南 廣美

割引券 コピー可

※この紙面が割引券です。

宇和島運輸フェリー

石鎚神社参拝割引券

※年間を通しての割引となります！

割引率 一割引

割引等級 全等級

割引対象 乗用車・バス・旅客

割引航路

八幡浜～別府 一日六便
八幡浜～白杵 一日七便

割引期間

令和五年 四月 一日から
令和六年 三月三十一日まで

除外期間

四月二十七日 ～五月十日
八月十日 ～八月十八日
十二月二十七日～一月五日

割引条件

乗船券発売窓口の本券を提出し、現金にてお支払いください。

予約先

八幡浜

別府 〇八九四―二三―二二〇〇

白杵 〇九七七一―二二―二三六四

〇九七二―六三一五一―八

二月一日 月次祭に併せ年賀厄除祭齋行

去る二月一日の月次祭に併せ恒例の年賀厄除祭を齋行いたしました。

年賀厄除祭は、石鎚本教の教会聯合会々員（本教評議員並びに教会長及び教正級以上の教師）にご在籍の方で、本年の年賀に該当される方々にご案内をいたしております。

本年は二十七名の該当の皆様方の、無病息災をご祈念申し上げます。

節目を迎えられました皆様方の、益々のご多幸とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

此処に、謹んで該当の皆様方を掲載し、ご報告致します。

*教会長であり教正級の方は教師階級を優先して掲載しております。

年賀該当者

御芳名（順不同・敬称略）

◎傘 寿（八十歳）

広島県呉市 大教正 川西 久美

◎白 寿（九十九歳）

高知県土佐市 中教正 菅 三十四

高知県南国市 中教正 森田 一男

岡山県倉敷市 中教正 平松 京子

◎卒 寿（九十歳）

広島県福山市 少教正 大西サカエ

広島県広島市 大教正 有田 守男

広島県大竹市 権少教正 藤井美代子

香川県高松市 権中教正 大高 久呼

愛媛県西条市 権少教正 藤井サキミ

東京都武蔵野市 権中教正 江藤 隆信

◎米 寿（八十八歳）

愛媛県宇和島市 権大教正 藤村 英子

高知県高知市 権少教正 有田 子ヨ

愛媛県松山市 権中教正 宮内 勝美

愛媛県松山市 権少教正 権少教正 宮内 仲子

愛媛県今治市 権少教正 田窪 美年

愛媛県西条市 権少教正 名誉顧問 伊藤 光貞

大分県大分市 権少教正 清水真智子

◎古 稀（七十歳）

大分県大分市 権大教正 板井 恵司

広島県福山市 少教正 岡本ユウコ

愛媛県宇和島市 権少教正 入江 伸明

愛媛県西条市 常任監査 曾我部保文

◎還 暦（六十一歳）

愛知県岩倉市 大教正 田中 聡哉

広島県福山市 権大教正 深川 健二

◎本 厄（四十二歳）

愛媛県西条市 職員 玉井 安胤





節分祭 (二月三日)
追儺之儀奉納者

二月三日の節分際におきまして追儺之儀(豆打ち)のご奉仕をしていただきました本年の干支であります卯年生まれの年男・年女の皆様に対し厚く御礼申し上げます。

ここに御芳名を掲載いただきましてご報告させていただきます。

年男・年女 御芳名

(順不同・敬称略)

愛媛県

西条市

”

”

”

吉田教会
新居浜市

”

”

伊予教会

大分県

大分石鎚教会

徳浦遥拝所

熊本県

肥国合神遥拝所

神奈川県

平塚市(石鎚神社常任講師)

西海 賢二

香川県

高松市

徳島県

脇町遥拝所

高知県

葉山教会

”

”

高岡郡日高村

佐伯 和彦

藤本 敏男

田村 和稔

谷岡 美喜

鍋島 京子

坂本 亀子

岡本 孝介

江藤ます子

木村 好一

守本よしみ

令和四年度 星祭祈願お世話人御芳名 (順不同・敬称略)

先般、二月三日の節分の日に
星祭祈願は満願いたしました。

全国から約五万六千名の方々
のお申し込みをいただきました。

ご尽力いただきましたお世話
人の皆様のご苦勞に対しまして

厚く御礼申し上げます。

ここに世話人の皆様の御芳
名を掲載させていただきますが、

紙面の都合上、五十名以上のお
世話をいただいた方々の御芳名

となっております。

御祈願お申し込みの皆様方が
石鎚大神様の御加護を受けられ、

大難は小難に小難は無難にと、
此の一年を息災に過ごされます

ことを心よりお祈り致します。



【愛媛県】

◎一、一〇〇体以上

睦美教会・・・田窪 一善

◎八〇〇体以上

東雲講社・・・黒田 明子

◎四五〇体以上

神明遙拝所・・・大西サカエ

水口 泉

◎四〇〇体以上

吉田教会・・・越智 汀祐

豊田 綾香 一色 章二

◎三五〇体以上

藤田喜代美

◎三〇〇体以上

上甲 公子

◎二〇〇体以上

梅原 康孝 徳田 光子

矢部三恵子

◎一五〇体以上

伊台石鎚遙拝所・神野 武夫

三崎遙拝所・・・今川 克英

重見 幸男 小林 敏朗

渡邊 和幸 曾我部美奈

◎一〇〇体以上

宇和教会・・・山内 康治

伊予教会・・・肥田真由美

赤松会・・・岡中 功

荒瀬 勝子 坪内 義和

岡本 行成 武智 晴子

飯塚 文弘 横田 初美

◎五〇体以上

神愛教会・・・柳川 典子

上浮穴郡教会・・・坪内 続

松岡 功 山口 義隆

難波江辰一 佐々木規人

十亀 直彦 稲葉 恭治

芝 弘明 宮脇 櫻

河端 光則 荒井 辰子

山本真理子 宮内 勝美

越智 光江 鈴木サナエ

叶 一美 山崎 香

渡邊 陽子 矢野 孝明

松本 幸子 藤田 春枝

小椋美枝子 大西彌太郎

尾田チエ子

【香川県】

◎三、一〇〇体以上

讃岐神大遙拝所・大高 久呼

◎一五〇体以上

琴平教会・・・石崎 洋一

◎一〇〇体以上

下八川 忠

◎五〇体以上

讃岐石鎚遙拝所・皆川 鈴子

森 晃一 落合美代子

佐伯恵理奈

【徳島県】

◎一〇〇体以上

湊 依子 金平 敏孝

◎五〇体以上

脇町遙拝所・・・藤本 敏男



【高知県】

◎八五〇体以上

和食教会・・・安岡桂一郎

◎七〇〇体以上

藤村 英子

◎三〇〇体以上

中村遙拝所・・・森田 茂

◎二〇〇体以上

土佐野市教会・・・出原 孝文

土州柏木講社・・・山脇 裕仁

◎一五〇体以上

切詰 皓喜 若枝 宏造

◎一〇〇体以上

葉山教会・・・岡村 信一

初心遙拝所・・・山崎 重寿

岡本 達男 石建東洋子

◎五〇〇体以上

清水教会・・・川村 博元

久原 友幸 田邊 和幸

齋藤 元紀

【広島県】

◎七五〇体以上

安芸教会・・・川西 久美

◎七〇〇体以上

赤坂教会・・・木村 稔

◎六〇〇体以上

蔵王教会・・・深川 健二

大打山遙拝所・・・石崎 昌司

◎五五〇体以上

神田山教会・・・三吉 真司

◎三五〇体以上

広島西教会・・・初谷 忠彦

川尻東講社・・・村上 純子

◎三〇〇体以上

備後南教会・・・田頭 規生

◎二〇〇体以上

上下教会・・・有田 守男

◎一五〇体以上

酒井久美子

◎一〇〇体以上

神畑遙拝所・・・松本 光子

海田遙拝所・・・横林 誠

石井 正人 須崎了子

◎一〇〇体以上

辻崎キク子

山南嘉和教会・・・岡本 嘉孝

神心講千年遙拝所・・・村上博章

◎五〇〇体以上

神ノ峰遙拝所・・・濱田 栄子

金丸組講・・・藤村 美友

北村 卓史 首藤 鈴子

岡崎 佑仍 小平 忍

杉原 則秀 後藤 夕子

西原 敏治 秦 知也

内海 弘行 門田 耕治

越智 光一

【岡山県】

◎一五〇体以上

鴨方遙拝所・・・花野 一雄

春山遙拝所・・・下山 隆義

◎一〇〇体以上

金光遙拝所・・・久本 恵弘

倉敷中央遙拝所・・・平松 史朗

◎五〇〇体以上

中臣 齋

【山口県】

◎一、五〇〇体以上

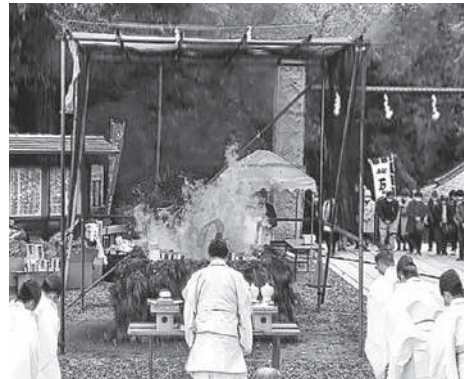
鐘ヶ淵教会・・・山田 春治

◎六五〇体以上

防府教会・・・山中 將史

◎五五〇体以上

萩教会・・・安藤 郁美



◎三〇〇体以上

橋本 賢治

◎二〇〇体以上

大島教会・・・中原 輝昌

宮木千工子 亀石三千代

◎一五〇体以上

原田 浩一

◎五〇〇体以上

富海教会 藤本 蝶子

【島根県】

◎五〇〇体以上

村上 道春

【和歌山県】

◎一〇〇体以上

佐藤 榮勇





【大阪府】

◎八五〇体以上

大阪教会・・・湊 喜美子

◎一〇〇体以上

瑞明遙拝所・・・西川 昌宏

◎五〇体以上

大阪西教会・・・室田 博子

福本 初恵 細田 欽也

【福岡県】

◎八五〇体以上

田川教会・・・榎並 好美

大分石鎚教会

勝山遙拝所・白石 順子

◎六五〇体以上

福岡神和教会・・・佐伯 良子

◎五五〇体以上

敬祥教会・・・勝本 房利

◎三〇〇体以上

穂波教会・・・越智 節子

◎二五〇体以上

真宝教会・・・濱本 文雄

香春教会・・・川津 守秀

◎一〇〇体以上

日高喜美子

◎五〇体以上

村上 一雄 村上 裕子

【大分県】

◎六八〇〇体以上

靈威教会・・・中西 幸男

◎一、八〇〇体以上

大分石鎚教会・・・江藤 秀人

◎五五〇体以上

津久見市

◎五〇〇体以上

宮山遙拝所・・・田中 國明

◎四五〇体以上

金子遙拝所・・・金子 良美

◎三〇〇体以上

田村 光章 大分市教会・・・長澤 講三

◎二五〇体以上

姫野 昌訓

◎二五〇体以上 大分千歳遙拝所・阿南 廣美

戸次遙拝所・・・足立 信昭

大分吉野遙拝所・楠野 耕市

◎二〇〇体以上

帶刀 康男

◎一五〇体以上

軸丸 貞子 木浦 由香

◎一〇〇体以上

佐々木美代子 高治 角二

別府神仰会

遙拝所・・・浦松 大八

徳浦遙拝所・・・木村 好一

白杵崇敬会・・・渡邊 一也

廣瀬 雅則

◎五〇体以上

田野石鎚会・・・森尾 眞二

二宮 孝一 三宮 京子

松田 友子

【熊本県】

◎一五〇体以上

肥国合神遙拝所・日高 智美

【愛知県】

◎三〇〇体以上

愛知遙拝所・・・澁谷恵美子

【群馬県】

◎三五〇体以上

関東石鎚教会・・・富田 直幹

【神奈川県】

◎五〇体以上

横浜講社・・・大竹 文子

【東京都】

◎二〇〇体以上

江藤 隆信

【京都府】

◎一〇〇体以上

福岡田川教会

京都遙拝所・・・三宅 秀樹

【北海道】

◎五〇体以上

敬神教会・・・山本 時雄





すがべ かえで ○曾我部 楓さん (西条市榎木)
 武智宮司・管長 ○武智宮司・管長
 ふかだ ○深田 ののかさん (西条市小松町)
 ちば きり ○千葉 煌さん (西条市丹原町)

福娘

本年の節分祭にて、景品交換の福娘としてご奉仕いただいた三名の方々です。
 当日は装束を着けて福札の景品交換をしていただきました。ご奉仕に対して厚く御礼申し上げます。

二月三日 節分祭

特賞当選者

(敬称略)

○特賞 天体望遠鏡

愛媛県西条市

千葉 煌

○特賞 開運石鎚

大分県大分市

江藤ます子

○特賞 YAMAZEN

セラミックヒーター

愛媛県西条市

星加 正一

○特賞 アイリスオーヤマ

四〇型液晶テレビ

愛媛県西条市

一色 光政

○特賞 クッキングプロ

愛媛県松山市

徳永 郁子

○特賞 パナソニック

ブルーレイプレイヤー

広島県福山市

森本トミコ

○特賞 フットマッサージャー

広島県尾道市

西原 善久

○特賞 オムロン

手首式血圧計

愛媛県西条市

安藤 頼光

○特賞 高圧洗浄機

愛媛県西条市

高橋 政子

二月三日 節分祭福札

二月三日 節分・星祭祈願納め祭齋行

去る二月三日、節分祭は好天にも恵まれ全国各地より星祭のお世話人を始め信徒の皆様、また、一般の方々も多数のご参拝をいただき、コロナ禍以前の賑わいを取り戻しつつ御祭儀が斎行されました事に感謝しております。

本年も平素よりお世話になっております関係各社より福豆景品のご提供を頂きました事、厚く御礼申し上げます。

祭典におきましては、三年ぶりに愛媛県民球団「愛媛マンダリンパイレーツ」のマスコット「マッピー君」が、また、「愛媛プロレス」の「石鎚山太郎」さんに初めてご参列いただき、玉串拝礼、豆撒き等、共に楽しく和やかなひと時を過ごしました。

この紙面に御協賛を賜りました各社の御芳名を掲載させていただき、厚く御礼を申し上げますと共に、益々のご発展をお祈り致します。

△御協賛各社御芳名▽ (順不同敬称略)

○白石旅館(石鎚神社中宮成就社 境内)

Tel○八九七―五九一―〇三二

○日の出屋旅館(石鎚神社中宮成就社 境内)

Tel○八九七―五九一―一四三

○京屋旅館(温泉旅館)

愛媛県西条市西ノ川・黒瀬

Tel○八九七―五九一―〇三三五

○歓喜庵(温泉旅館 京屋旅館別館)

愛媛県西条市黒瀬

Tel○八九七―五九一―〇五二二

○石鎚登山ロープウェイ(株)

愛媛県西条市西ノ川

Tel○八九七―五九一―〇三三一

○(有)竹重(装束・祭具等)

京都府京都市下京区西洞院花屋町上ル

Tel○七五―三七一―〇三九四

○水戸奉製(御守・授与品)

茨城県水戸市中丸町四八六一五

Tel○二九―二五二―七五六三

○(株)垣内奉神堂(授与品)

奈良県奈良市窪之庄町六二九

Tel○七四二―一五〇―一―二二九

○東和奉産(株)(社寺調度品)

京都府京都市南区吉祥院観音堂町七

Tel○七五―六九一―一三〇〇〇

○(株)神戸珠数店(各種数珠・玉類製造卸商)

京都府京都市下京区正面通烏丸東入

Tel○七五―三七一―一三九二九

○石鎚酒造(株)(御神酒)

愛媛県西条市氷見丙四〇二―三

Tel○八九七―五七―八〇〇〇

○成龍酒造(株)(御神酒)

愛媛県西条市周布一三〇―一―一

Tel○八九八―一六八―八五六六

○(株)阿部(木札・絵馬・御守製造販売)

栃木県栃木市藤岡五〇二三―一

Tel○二八二―二六二―一〇一〇

○セキ(株)(印刷・製本・情報加工)

愛媛県松山市湊町七丁目七番地一

Tel○八九―九四五―〇一一二

○愛媛マングリンパイレーツ

愛媛県松山市東石井六丁目十二―三六

Tel○八九九―九一四―八一〇二

○一色石材工業所(肖像・鳥居・墓石各種彫刻)

愛媛県西条市周布

Tel○八九八―六八―七一六九

○(有)越智電工(電気工事)

愛媛県西条市吉田五六三

Tel○八九八―六八―七八八四

○伊藤寿司(寿司料理・仕出し)

愛媛県西条市氷見丙五〇八

Tel○八九七―五七―七六二八

○新光ビニール㈱(ビニール製品加工)

愛媛県松山市来住町一四〇四―三

Tel○八九―九七五―七六六六

○岡本産業㈱(タオル・バスマット製造)

愛媛県今治市朝倉南甲九二―一

Tel○八九八―五六―二一六一

○石鎚タクシー㈱ついたち営業所

愛媛県西条市朔日市八九三―一六

Tel○八九七―五六―〇八〇九

○(株)国際旅行(旅行・観光)西条営業所

愛媛県西条市榎木四六一―一

Tel○八九七―五五―一四九七

○(有)おち観光(観光土産品卸)

愛媛県西条市大浜六三二―一五

Tel○八九七―五五―二八八六

○(有)藤本石油

愛媛県西条市氷見乙七〇五―一

Tel○八九七―五七―九八〇四

○平原染工場(幟・幕・はっぴ等)

愛媛県今治市北日吉町一丁目

Tel○八九八―二二―二三三三

○伊予桜井漆器会館(えひめの伝統工芸)

愛媛県今治市長沢甲三四〇―一

Tel○八九八―四八―〇四一八

○首藤印刷所

愛媛県西条市大町一五一七

Tel○八九七―五五―三二八九

○(有)プリ・キュウ・プレス(デザイン・印刷)

愛媛県西条市大町六一―一

Tel○八九七―五三―六九五五

○(有)野口印刷所

愛媛県西条市丹原町丹原一八五

Tel○八九八―六八―七〇五三

○(株)星加のゆべし

愛媛県西条市西田甲五三八―二

Tel○八九七―五五―八四七四

○北四国商事㈱ 東予営業所

(OA情報機器・オフィス家具・文具・事務用品・家電)

愛媛県西条市大町三一―一

Tel○八九七―五三―八四二一

Tel○八九七―五三―八四二一

○(株)柳田屋商店(金物等卸小売り)

愛媛県西条市壬生川本河原

Tel○八九八―六四―三二四五

○電器空間(トータルホームサービス)

愛媛県新居浜市松神子一―七―二〇

Tel○八九七―六六―九九三五

○(有)タサキミート(精肉販売)

熊本県熊本市田崎町四三〇―一〇

Tel○九六―三五―四一八五〇四

○丹原建設㈱ 安藤直康

愛媛県西条市丹原町今井二二五―一

Tel○八九八―六八―七四八五

○(有)金子建設 金子哲男

愛媛県西条市丹原町寺尾甲四六九

Tel○八九八―七三―二二九九五

○(有)真鍋組 真鍋知志

愛媛県西条市氷見乙七八四

Tel○八九七―五七―八六〇〇



○(株)銅元(飾り金物製作)

愛媛県西条市神拝乙二一七一

TEL〇八九七―五三一―二七二

○大分石鎚教会 江藤 秀人

大分県大分市下郡南

TEL〇九七―五六八―八一五九

○(株)曾我工務店 曾我 政夫

愛媛県西条市樽木一六三―二

TEL〇八九七―五七―八二四七

お初穂奉納者

五万円以上ご奉納いただきました皆様

令和四年十二月一日
令和五年 一月末日まで

《本社》

○壹百万円以上
不動教会

○貳拾万円以上

福岡神和教会 佐伯 良子
大分石鎚教会 江藤 秀人

○参拾万円以上

塩出 茂子

○五万円以上

穂波教会 越智 節子
浦松 大八 高橋 省司
岡松 真彦 平川 久子
岡本 愛子

令和五年二月 三日
節分祭・星まつり祈願納め祭

《本社》

○貳拾万円以上
福岡神和教会 佐伯 良子

○八万円以上

大分石鎚教会 江藤 秀人

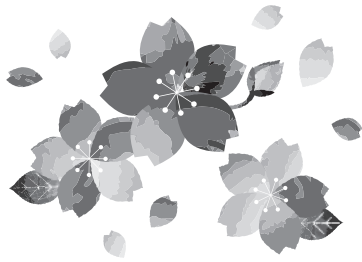
○六万円以上

肥国合神遙拝所 日高 智美

(順不同・敬称略)

また、本社での五万円以上のお初穂奉納者につきましては、本社本殿前掲示板に掲載させていただきます。ご奉納心から篤くお礼申し上げます。

文責 権禰宜 大岡



御奉納

二月三日の

石鎚本教節分祭

星まつり祈願納め祭りにて

『天幟旗』を新たに境内に御奉納いただきました。

令和五年一月一日

四国中央市

中根町一六九番地の一

株式会社 大日

井上 勲

令和五年一月

愛媛県新居浜市

喜寿祝

天川谷 武男

長男 忠雄

(敬称略)

御奉納誠にありがとうございました。



建国記念の日 奉祝東予地区大会 三年ぶりに開催 於…西条市総合文化会館

皇紀二六八三年・二月十一日、
祝辞を

愛媛県知事 中村時広氏

(代理) 東予地方局長

山本泰十氏

衆議院議員 井原巧氏
より頂戴しました

感染症対策を行い、約四〇〇人
のご参加を頂きました。

今大会は県内各七会場におい
ても同様に挙行され、当会場に
は市民の皆様はもちろん、東予
地区の神社関係者、国会、県議
会、市議会、遺族会、防衛・教
育・福祉関係、商工、企業関係
宗教者各位にご参加頂きました。

○オープニング

講演講師「江崎道朗」氏のビ
デオ上映。

○第一部 記念式典

国歌「君が代」を斉唱
続いて、稲見勇喜夫実行委員
長が式辞を述べ、



来賓紹介の後、紀元節の歌を、
「エコーおおまち」様の先導の下、
参加者と共に斉唱しました。



○第二部 記念講演

『日本を守る為の提言』

講師 江崎 道朗 氏

(評論家)

他国は「独立記念日」として
祝うが、「建国記念の日」として
お祝いができる日本に生まれた
事に誇りを持ち、もっと日本を
好きになるよう、しっかりと伝
統や文化を伝えていかなければ
ならない。

強く優しく語る口調に会場は
感動に包まれました。



また、開会前後に行われま
した江崎先生の書籍販売とサ
イン会には多くの方にお越し
頂き、準備した書籍が次々と
参加者の手に渡り、一緒に記
念撮影をする姿も垣間見え、
先生の人気の高さを感じるこ
とができました。

大会の納めに、石鎚神社武
智正人宮司の発声により聖寿
万歳明比昭治県議会議員によ
り閉会の謝辞が申し述べられ
幕を閉じました。

(通常開催では清興や、お楽し
み抽選会などが行われるが、
今回は休止)

日本国の誕生日であります
「建国記念の日」。皆様は国旗
を掲げられましたでしょうか？
日本人として祝祭日には国旗
を掲げ、その日の成り立ちを
各ご家庭でもお話願えればと
思います。

令和六年の奉祝大会は通常
通りの開催になることと思
いますので皆様のご参加をお待
ちしています。

記・権宮司 十亀 博行

石鎚敬神婦人会本部役員総会

二月二十日開催



岡村加代子 会長

去る、二月二十日、石鎚神社におきまして会員三十六名、本社よりは武智宮司を始め常務総代・氏子総代・本教理事・組合長・教会長・遙拝所長など十四名の役員の方々のご出席をいただき総勢五十六名の参加の中、石鎚敬神婦人会本部役員総会が開催されました。

昨年、一昨年とコロナ禍で総会が書面会議となり開催されませんでした。今年も八波も収まりを見せ、久しぶりにお顔を合せる仲間に笑顔がこぼれる中、午前八時三十分から御本殿におきまして開会奉告祭・御神像拝戴の神事が執り行われました。
暖冬とは言え近日の冷え込みで朝から凜と張り詰めた空

気の中、岡村会長を始め役員と参加の会員が心一つに御神像拝戴を奉仕し、滞りなく神事を取り納めました。
会場を神社会館に移し、本部役員総会が始まり、



先ず新支部設立承認証授与が協町遙拝所支部 藤本幹世支部長に手渡されました。

- 議案審議事項
- 令和四年度事業報告
- 令和四年度決算書
- 創立五十五周年について
- 令和五年度事業計画
- (教化・研修・庶務・財務)
- 各部署 事業計画報告

令和五年度予算書

その他

- ・会報『たかね』原稿の依頼
 - ・春季例大祭の件
 - ・事業品Tシャツ作成の件
 - ・お宮で文化祭の件
 - ・『石鎚魔よけ猿(大寸)』について
- が審議され



議案審議事項はそれぞれ満場一致で承認されました。

○創立五十五周年では、記念事業として一握り会計より、神社会館会議用テーブルの購入・会館一階直会場床のリニューアルを検討。五月理事会にて決議。
土小屋遙拝殿参拝旅行(一泊二日・自費にて)
『石鎚山』の歌に踊りの振り付けを考案。が提出され可決。

○「たかね」は会員皆さんで作る会報です。おかげ話、郷土料理、料理の簡単レシピ、民謡、俳句、短歌、家庭の知恵袋、などなど、お知らせ等投稿をお待ちしております。

分科会では支部の紹介や、支部の活動などの記事を掲載してはとの声がありました。四月の春季例大祭までに記事がありましたら原稿をお寄せ願います。

○恒例のお宮で文化祭『奉納いしづち泣き相撲』は、今年九月三日(日)の予定です。

○事業品『石鎚魔よけ猿』は、石鎚みやげの伝統であります。神社会館にて今年三六七個販売致しました。

石鎚山の伝統を継承すべく、多くの方にお求めいただければと思います。また、今年は大きめの魔除け猿を作製し、本殿前の鈴の緒などに奉納いたしたく検討を致します。制作時には、ご助成を願います。

○本年第五十六回の石鎚青少年錬成会は八月十七日(木)～二十日(日)三泊四日にて行われます。敬神婦

人会からも旅費の一部を一握り運動より助成しております。



○創立四十五周年の記念誌「石鎚山のおかげ話」はご依頼があれば贈呈いたします。

○春・秋の大祭にて花神輿のご奉仕ありがとうございます。今年も多くの会員と共に盛り上げたかと思っております。ご参加を宜しく願います。※お茶席は、今年の春祭り休止します。

○会費は敬神婦人会の活動資金です。納入をお願いします。

○婦人会事業として国旗、会服・一筆箋・ジャージ・魔除け猿などの販売をしています。ご協力をお願いします。

詳しくは会報「たかね」をご覧下さい。

○また、「古切手」の収集を継続して行っています。海外の子供たちの予防接種等、医薬品を購入する資金となります。ご協力をお願いします。なお、切手につきましては周囲五ミリ以上離して、切り取ってお集め下さい。

石鎚神社 敬神婦人会 宛
へお願いします。

今年度も会長を扇の要として、会員一同心を一つに敬神夫人の輪を広げ、頑張つて行きたいと思えます。ご理解とご協力をよろしく願います。

権瀬宜 大岡記



帰 天

先達 名誉部長

河野 強 大人命

十一月九日 天寿八十才



河野強先達名誉部長が帰天された。天寿八十才。

- ・夏山大祭、成就社索道課長、営繕を長きに亘り奉仕。
- ・成就社火災前より成就社の各種工事を施工。成就社復興工事にも尽瘁。以降、成就社の営繕の一翼を担当。
- ・御山の御鎖の掛け替え工事。
- ・頂上社御復興工事協力施工。
- ・二の鎖、三の鎖小屋の解体、新築の土木工。
- ・弥山磐座改修工事。
- ・三十六王子社巡拝道を含む、御山の参道補修等、多数。

土木一筋にして御山の申し子のように実に様々なる「御山の工事」をご担当戴いていた。山中ではプレハブ生活や時に野宿をしつつの施工を、悪天候の中での作業を。親方としての漢気に溢れて号令をかけ、常に気概を以て物事に当たりつつ、仲間を以て配り、時に流す涙の日もご一緒させて戴いた。石鎚山頂や山中への荷上げのヘリのフライトにも長く采配を振るい、御山の天気予報士としてのお知恵をずいぶん戴いたものであった。いつの会話にも必ず、成就社と御山の話がされていた。

長きに亘る多大なるご功績とお心配りに、心から感謝申し上げます。河野強命の御霊安かれと祈り上げ、以てご報告と致します。

文責、武智。

ご遺族 嫡男 河野孝明様
〒793-0072

愛媛県西条市
水見乙1084-7



設置場所…本社境内
 ※各所ローテーション
 ご奉賛金…一 張 金 五 万 円
 (維持管理費を含む)

本社用境内提灯献灯の
 ご奉賛をお願いしています。

設置期間…春大祭・秋大祭

お山開き大祭
 正月(十年間)

ご奉賛をお願いします

本社用提灯 献灯

ご奉賛下さいました方のご住所(県名市名)、お名前(二名まで)を記入させて頂きま

す。
 ※文字の大きさは記入例と変わることがあります。ご了承ください。



↑ 記入例 ↑

※お申込みは、お電話にて受付させていただきます。

お申込み・お問合わせ
 石鎚神社 担当 大岡
 ☎ 089715514044

受付方法

担当…石鎚神社 大岡
 受付…電話のみ
 受付後…確認票と振替用紙を送付

確認票(案)

提灯への記入内容	電話番号	氏名	住所	石鎚神社本社境内用提灯	ご奉賛申込書
〇県〇市 石鎚太郎 花子	電話番号	石鎚太郎	〒〇県〇市〇町 〇丁目〇番地		

新人職員紹介

出仕

田窪 芳弘



此度、一月一日より石鎚神社へ奉職させて頂いたたく事になりました。

以前は、神社とは関係のない一般の会社で仕事をしていましたので、今は一から勉強し直します。まだまだ解らない事ばかりで皆様に御迷惑をかけることも多々あると思います。

今後、御縁を戴きました事に感謝すると共に御期待に添えるよう懸命に奉仕していきたくと思っておりますので、皆様からのご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

石鎚神社成就社 役行者尊例大祭・お火焚き祈願祭

令和5年4月30日(日) 11時から
皆様お誘い合わせの上どうぞご参拝ください



お火焚き祈願祭「祈願木」は、本社・成就社にて頒布。初穂料1体300円
例大祭へのご参列の方には当日のみの特別な御守を贈呈致します
世情により、一部を変更する場合があります。

石鎚神社 中宮 土小屋遙拝殿 御鎮座五十周年奉祝改修工事ご奉賛のお願い

土小屋遙拝殿は、長年の風雨雪により、御屋根銅板と社殿木部の痛みが進み、二十年来の雨漏りも一段と激しくなり、重ねてきた補修も、もはや限界となりました。

本年も四月一日より厳しい気象条件の中での工事を再開します。どうかご理解とご協力をお願い申し上げます。

ご奉賛のお問い合わせは、崇敬組合・教会・遙拝所・講社の方々は所属の長の方へ。所属のない方は、本社へ直接お声がけください。

奉祝奉賛会 役員一同

土小屋遙拝殿 御鎮座五十周年の歴史

- ・昭和四十五年 石鎚スカイライン開通
- ・昭和四十六年 土小屋遙拝殿へ御神像遷座
同 土小屋遙拝殿建立奉告祭斎行
- ・昭和六十二年 土小屋遙拝殿
改築工事奉賛会発足
- ・平成元年 土小屋遙拝殿建立奉告祭斎行
- ・令和三年 土小屋遙拝殿御鎮座五十周年

銅板御屋根の葺き替え

現在の御屋根は三十年来の風雨雪により、傷みが激しく雨漏りをしています。このままでは御社殿自体の損傷が進むと考えられます。

新たに銅板にて御屋根を葺き替え、石鎚大神様が御鎮座されるにふさわしい御社殿になる様、計画致しました。

木部外壁部の張替防水対策工事

御本殿外壁の木部は、長年の風雨雪や直射日光により木が割れ、横からの漏水が激しくなりました。

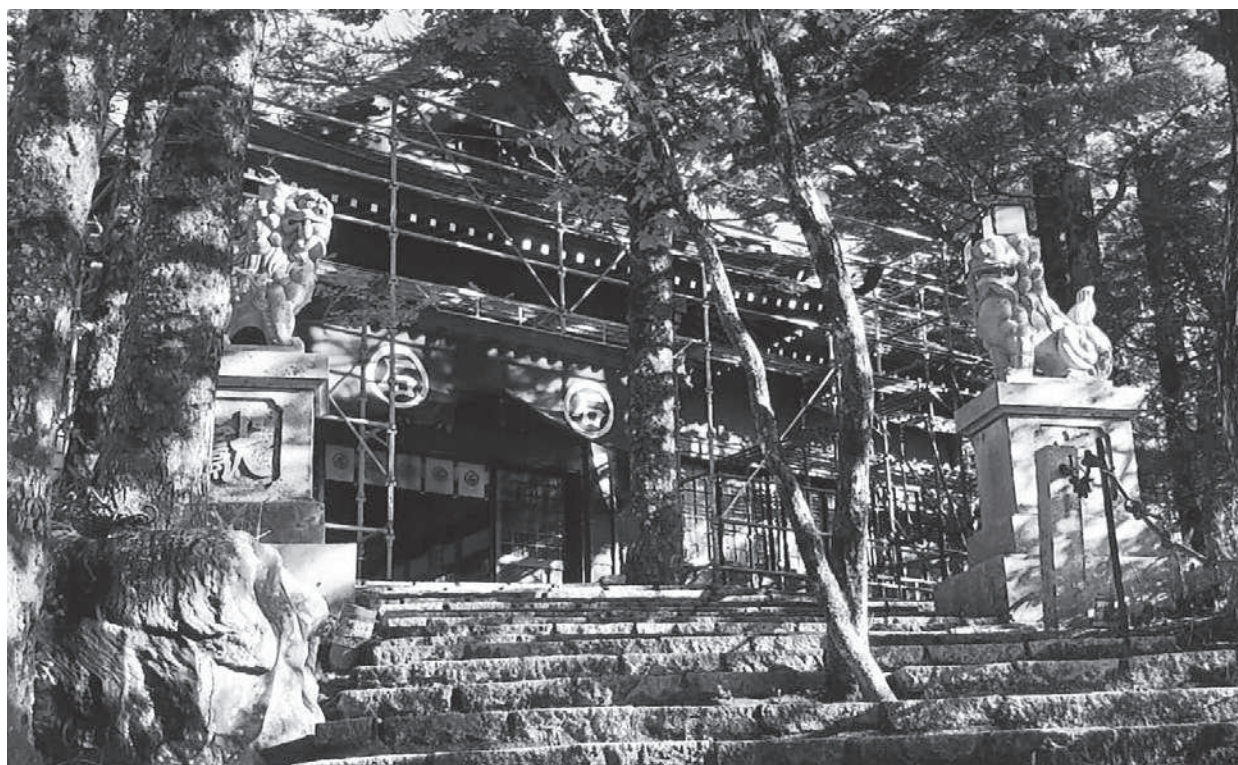
石鎚大神様の御鎮座される御社殿としてふさわしい、木部外壁の張替工事、防水対策工事も計画致しました。

周辺整備

御本殿のコンクリートの外回廊も前回の防水工事より年数を経て機能が低下してきました。

正面階段中央のモミの木が成長し、石畳が浮き上がり参拝者が躓く事も予想されます。

これらの維持管理の為、外回廊の防水工事、石畳の一部改修また殿内の畳の取り替え等を計画致しました。



ご奉賛頂きました皆様へは、下記の対応をさせていただきます。

奉賛金額	ご芳名	銅板記名	御神札	記念品	感謝状	掲額	ご案内
2,000円未満	○						
2,000円以上	○	○					
1万円以上	○	○	○				
5万円以上	○	○	○	○			
10万円以上	○	○	○	○	○	○	○
20万円以上	○	○	○	○	○	○	○
30万円以上	○	○	○	○	○	○	○
50万円以上	○	○	○	○	○	○	○
100万円以上	○	○	○	○	○	○	○

- ◎ご芳名 全てのご奉賛者のご芳名を、土小屋遙拝殿に永久保存
- ◎銅板記名 銅板へお名前を記名
- ※銅板記名対応は、御屋根葺き替え完成直前までとさせていただきます。
- ※下記は、工事完成後に対応させていただきます
- ◎御神札 本奉賛会にて特別に奉製された御神札
- ◎記念品 本奉賛会、記念品
- ◎感謝状 本奉賛会、感謝状
- ◎掲額 土小屋遙拝殿内に、ご芳名を掲額
- ◎ご案内 奉祝大祭のご案内
- ◎銅板奉納 ※1口・2,000円～。
・本社、土小屋遙拝殿社頭にて
・お名前の記入は1名とさせていただきます。
・受付は、お世話人様を通じて。

改修工事 予算

御屋根	銅板の葺き替え	五二、〇〇〇、〇〇〇円
外部壁	木材の張り替え・防水対策	一八、〇〇〇、〇〇〇円
周辺整備		五、〇〇〇、〇〇〇円
奉祝大祭・奉祝式典・芳名掲額・予備費		一〇、〇〇〇、〇〇〇円
予算 総合計		八五、〇〇〇、〇〇〇円

真心からのご奉賛を、誠に有難く、深く御礼を申し上げます。今後も、ご奉賛活動に深いご理解とご協力をくださいます様、心からお願ひ申し上げます。

宮司 敬白

NPO 法人
石 鎚 森 の 学 校 活 動 報 告

— 石 鎚 山 系 連 携 事 業 協 議 会
令 和 4 年 度 第 1 回
環 境 安 全 対 策 ・ 登 山 分 科 会 —

【日 時】 1月12日(木)
15時30分～14時45分

【場 所】 西条市役所本館
5階502会議室

【参加者】 NPO法人西条自然学校、
(二社)いの町観光協会(オン
ライン参加)、愛媛大学社
会共創学部(オンライン参加)、
(二社)西条市観光物産協会、
(二社)久万高原町観光協会、
西条商工会議所、(一社)大
川村ふるさと村公社、(株)
石 鎚 観 光、石 鎚 登 山 ロ ー プ
ウエイ(株)、NPO法人石鎚森の
学校、面河系を愛する会、山
荘しらす

【オブザーバー】 環境省四国
事務所国立公園課、四国山岳
ガイド協会
【その他】 高知大学次世代地
域創造センター

【当該事務局】 久万高原町ふ
るさと創生課、いの町本川総
合支所産業建設課、大川村む
らづくり推進課、西条市観光
振興課 以上担当氏、関係ス
タッフ計25名

【事務局参加】 曾我部英司事務局長
岩本昌美事務局スタッフ



標記会の第1回会合が、令
和5年となりコロナ禍を考慮
しオンライン参加も含めて初
めて対面で開催されました。
コロナ禍の下での様々な活動

も3年目となっており、オン
ラインでの会議も一部社会で
はコロナ禍に関係無く普通に
なってきました。本協議会も
今回よりオンライン参加が認
められることとなっています。

一方、そんな中での会合で
すから参加メンバーに会うの
も少し振りとなり、会合前
にはお互いの近況報告も兼ねて
談笑が自然発生します。オン
ラインも良いのでしょうか、
やはり今更ながら対面会議な
らではの必要性も伺えます。

さて、本会の議題は①令和
4年度事業報告について②令
和5年度事業計画(案)につ
いて及び③その他でした。①
②に関しては、ほぼ原案どお
り承認可決されましたが、そ
の他に特に関心したのは石鎚山系
でも広がりつつあるシカの食
害を懸念する声や弥山山頂か
ら天狗岳を往復する登山者の
増加に伴う危険回避や植生保
全の方策などが協議され閉会
となりました。

※第34回「山岳写真家集団
くもの会写真展」

【日 時】 1月25日(水)
会期は1月24日～29日
午前10時～午後6時

【場 所】 ギャラリー黒猫
松山市湊町

【事務局参加】 曾我部英司事
務局長、岩本昌美・黒河由佳
両事務局スタッフ

コロナ禍の為、現地での鑑
賞をご遠慮させて頂いていま
した恒例の写真展、久しぶり
に行って来ました。同会メン
バーの皆様とも歓談。やはり、
対面できるのは楽しく嬉しい
ものです。益々のご活躍を祈
念申し上げます！



※石鎚山お山の案内人活動

【日 時】 1月31日(火)

午前10時ロープウェイ登山
15時ロープウェイ下山

【場 所】 石鎚登山ロープウェイ山頂駅〜ピクニック園地、奥前神寺經由成就社境内

【主 催】 石鎚山系エコツアーガイドクラブ

【講 師】 法橋弥生さん(NPO法人西条自然学校)、曾我部英司事務局長(NPO法人石鎚森の学校)

【参加者】 講師含め計17名
【事務局参加】

曾我部英司事務局長



今回は、標記ガイドクラブが主催する石鎚山系ガイド養成研修会の講師を担当させていただきました。当日は、積雪30センチ〜40センチ、気温は氷点下ながら成就地区には霧氷が咲き、終日冬の青空に石鎚山頂が映える絶好のコンディション。

ご参加の皆さん全員、研修とはいえ清々しい冬の成就地区を体感されたことと思います。

※石鎚森の学校2023 ☆冬☆
氷点下の森の自然観察&雪遊び♪

【日 時】

2月18日(土)〜19日(日)

【場 所】 石鎚山就社地区

【講 師】 北添伸夫さん

(昆虫・天体のプロカメラマン)

【主 催】

NPO 法人石鎚森の学校

【協 力】 石鎚神社、石鎚登山ロープウェイ(株)、面河系を愛する会、山のボランティアネットワーク

【ツアー実施】 (株) 国際旅行

【参加者】 合計19名

(曾我部英司事務局長、岩本昌美・黒河由佳両事務局スタッフ、人見義一・秋山一幸・藤原隆子各サポートスタッフ含む)



コロナ禍のため停止していた森の学校恒例の1泊2日の冬の体感イベントを3年振りに催行することができました。近年暖冬の影響で、積雪量も減少傾向ですが、初日は雪のある登山道をリフト經由にて自然観察をしながら会場の成就社境内へと向かいました。境内には前日までに降り積もった雪や社殿から落ちて溜まった雪が結構あって、カメラや雪像作り、雪合戦、ソ

リ滑りなど、大人も子どももお山の冬を存分に楽しむことができました。また、屋内では講師の北添さんから、デジカメの上手な撮り方や冬の星空のレクチャーを受けました。両日ともに2月にしてはかなり暖かく、気温が氷点下になることもなくプラス3度以上。2日目は、残念ながら早朝からなんと雨。屋外での活動は出来なくなり急遽、成就社の朝拝参列体験に始まり、石鎚山のビデオ鑑賞や恒例のウルトラクイズ大会で盛り上がりました。



文責 事務局長 曾我部英司

山のタヌキの独り言(四十七)
 「石鎚は石鎚らしく」が
 よるじやないか

今朝も気温は氷点下に近いんじゃないの。ま、寒いとはいうても、この成就社の杜を照らす陽も心なしか春らしくなって来よった。こうして散歩しながら道ばたのリョウブやシロモジの木々の冬芽を見ると、だいぶん膨らんでも来とるわい。オッ！あそこの日だまりの枯葉からは、フキノトウがチロツと顔を出しとる。



もうすぐ草木も芽吹き、成就地区のアケボノツツジの名所の黒川山に薄紅の花が開き、

背景には谷間に残雪のある石鎚山が麗しく映える時が来る・・・そして山頂には固有種のイシツチザクラも可憐な花を咲かす。石鎚山に本格的な春の到来じゃー。なんせ、このお山の植生というたら天下第一品。麓から山頂まで歩いたら、東北地方までの植生を展開しとるらしい。



自然界は、長い年月を重ねて西日本最高峰特有の植生を生み育ぐくんできた。麓の西条市に「ウチヌキ」と呼ばれる自噴水が豊富なのは、石鎚山系のこうしたブナを始めとする豊かな植生のお蔭なのはいままでもない！そうじゃ、自然だけじゃのうて、お山は人間界特有の文化や伝統も創

り育んだ。

沢山の人間様が知るとおり古くから、日本七霊山のひとつにも挙げられ修験道の道場として、神仏混淆の信仰の聖地として、参詣者は御頂上を目指しよる。この成就社から山頂までの参道は、現在四km程。人にもよるが三時間あまりの急坂や鎖場などを辿ることになる。石鎚参詣が一般的になったのは、江戸時代中期頃といわれとるが、団体参詣も始まり、当時は山頂へ続く危険な狭い道を行くのは、道順はもとより、水場や薬草、目的地への所要時間などを知る先達(案内者)の存在は必須じゃった。

たぶん、参詣団の命を預かるどこぞの先達から、自然発生的に始まったものとタヌキのわしは思うとるんじやが、「ナンマイダー、ナンマイダー」の登拝中のお馴染みの掛け声じゃ。つまりは「南無阿弥陀仏」、仏さんの言葉じゃ。これを、急坂などを行く先頭の先達が「気合いを入れよ！」と念じつつ大声で発

生すると後続者は、同じく「ナンマイダー」と復唱する。呼吸法のひとつともなり上手に繰り返すと自分の息も整うし、先頭の先達は振り返らなくても復唱される声の状況でその隊列に乱れがないかをも判断することもできよる。

この「ナンマイダー」の掛け声で、お山のガイドをしよる人間様が面白いことをいうとったのう・・・。



ある日、十二ヶ国十九人の留学生と山頂へお参りに行つたんじやと。じゃが、留学生は様々な宗教を信仰しとるんで、敢えて信仰の話はしないで山頂をお参りして、下山してから参加者全員の率直な山頂行の感想をもらうことにし

とつたらしい。

ところがじゃ、一の鎖を登った時じゃったか、神社のガイドさんが、いつもの癖でガンバレー!との応援の気持ちを含めて、「ナンマイダー!」と声をかけてしようたんじゃと。すると・・・、その意味も知らない留学生らが、「ナンマイダー、ナンマイダー」と誰ということもなく唱和を始めて三の鎖を登りきる頃には、全員が上手に「ナンマイダー」を復唱しておったんじゃと。

さらに面白いのは、下山時に八丁坂王子の辺りで、イスラム教徒の留学生二人が、聖地メッカの方向へ向かい定時の座拝を始めよった。神仏混淆のお山で聖地メッカへの真摯な祈りを目の当たりにしたんじゃと。ガイドさんという光景はすごく自然で麗しかったという。

そしてその後、成就社までの坂道を登っておたら、ガイドさんの前のフィリピン国籍の女性が足を引きずり痛そ

うに歩き始めてからしばらくして立ち止まり・・・、いきなり両手を広げて天を仰いで「ギブミーエナジーナンマイダー!」と大声で叫んだんじゃと。



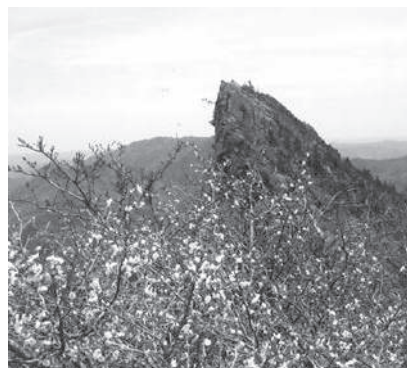
で、ガイドさんは様子を覗いながら後ろについて歩いていると、彼女は小声で時々「ナンマイダー、ナンマイダー」と自分に言い聞かせ?ながらとうとう自分の足で成就社境内まで歩ききって神門を入って笑顔で万歳をしたんじゃと。ほんでそのガイドさんが彼女に聴いてみたそうなの。「なぜ、あなたは、あどとき『ナンマイダー』と叫んだの?」すると彼女は「意味は分らないけ

ど、パワーをもらえるように思った」と。



昭和に入ってからのことじゃった。石鎚神社の信徒さんに「ナンマイダー」は仏教用語なので、今後の登拝時には「高い山、尊い神(タカイヤマ、トオトイカミ)」と唱えるようにと通達したことがあったんじゃが・・・、全く広まらずに終わってしもうた(笑)やはり、石鎚のお山をお参りする時は「ナンマイダー」がピタッと心に響くということよのう。そうそう、留学生山頂行でのドイツ国籍のお方の感想のなかに、「石鎚神社の人たちが言っていた『ナンマイダー』という言葉

のお蔭で頑張れた。意味はよく分らないけれど、僕に大きな影響を与えた。」ともあったらしい。



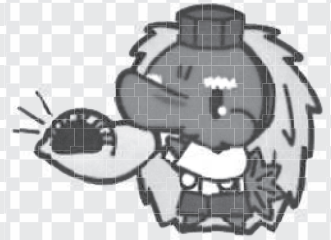
霊山としての長い歴史のなかで、お山が生み育んだ文化や伝統には「お上りさん、お下りさん」という参拝者同士の挨拶もそうじゃし、その最たるものは石鎚神社の特殊神事「御神像拝戴」じゃろう。日本に唯一ということは、世界に、宇宙にひとつの文字通り**有り難い神事**じゃ。

わしもこのお山の七合目、成就地区に住まわせてもらって数えてみたら三百年ちよつと。それらしくお山の色に染まったかのう。

文責 瀬川 曾我部英司

正月奉仕
特集号

石 虫 の 声



編集前記

今年春暖冬で、過ごしや
すい正月三が日となりまし
たが皆様がいかがお過ごしで
しょうか。

今回も令和四年十二月三
十一日より、令和五年一月
三日までの四日間の正月奉
仕を行いました。

新型コロナウイルスの感
染状況や昨今の反省を生か
し、新しい体勢でご奉仕を
行い、素晴らしい新年を迎
えられました。

奉仕学生の方の、多大な
ご協力をいただき、良い
正月奉仕を行うことができ
ました。

古賀 真依



会長挨拶

年が改まり、厳しい寒さの中にもすがすがしさが感じられる日々ですが、お健やかに過ごしのことと存じます。今年の正月奉仕もコロナ禍の中の奉仕となりました。その影響で参拝者が少ないように感じました。

夏に新青年部が一人加入し新たなメンバーで正月奉仕を迎えました。

また、アルバイト、アルバイト学生の方々におかれましても、貴重な時間を割いてのご奉仕感謝申し上げます。

最後になりましたが、今年も無事正月奉仕を終えられたことは、神社職員の皆様・関係者各所、参加青年部の方々のおかげです。ありがとうございました。一日でも早く通常の生活にもどれますように心からお祈り申し上げます、会長の挨拶とさせていただきます。

宇佐 つぐむ



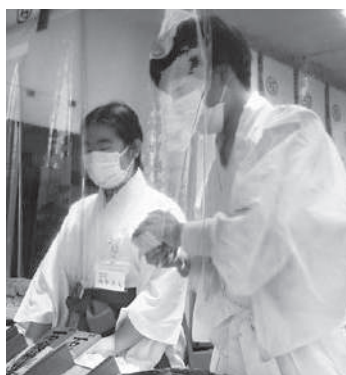
授与所代表青年部挨拶

明けましておめでとうございませう。私は今年で二回目の正月奉仕となりました。今年も昨年と同じく授与所の担当となりました。

昨年は初めての正月奉仕で緊張と不安だらけでしたが、今年は少し余裕を持つことができました。

今年はコロナウイルスの影響もあり参拝者の数も昨年より少なく感じました。ですが、大晦日、元旦はもちろんのこと、二日、三日の昼になるにつれ授与所が忙しくなってきました。とても大変でしたが、アルバイトに来てくださったった奉仕者の方の仕事の呑み込みが早く、神社の先生方、巫女の方々の協力もありません。最後になりましたが、神社の先生方、巫女の方々奉仕者の皆様、誠にありがとうございました。

十亀 和真



総責任者総括

萌芽の候、皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、総責任者として正月奉仕をさせていただくこと今年で七回目となり、私の取り組みとして、昨年度より青年部の後継者育成のため私がすべてを指示するのではなくある程度後輩に任せることを重点的に行っております。しかしながら私自身の指示不足や青年部個々の抜けなど、細かな部分がかけているところがあるため、今後もこの取り組みを続けながら後輩の育成と円滑な奉仕を目指していきたいと考えております。

また、縁起物授与数と授与金額の差異も過去最低の少なさとなったので、次年度以降差異がさらに少なくなるよう、間違いをしないシステムを構築していきたいと思っております。

青年部構成員はほとんどが学生であり、正月奉仕は普段とは違い多額の現金を扱うため、非常に責任感・緊張感をもってご奉仕をさせて頂いております。

学生のうちにこのような経験をさせていただける場合はほとんどなく、私自身社会人になってこの場での経験があつてよかったと痛感しております。

このような経験をさせて頂けることに感謝申し上げますとともに、今後とも青年部へのご指導・鞭撻のほど、青年部会長以下一同、心よりお願い申し上げます。総責任者の総括とさせていただきます。

寺川 卓



青年部よりお知らせ

八月に開催されました青年部定例総会にて、現在発行されている「虫の声」に加えて、年三回〜四回発行のはがき広報紙「青天」と年一回五月発行予定の「青嶺」の二種類を発行することとなりました。

「青天」については晴れ渡った青空のように澄んだ心で精進すると意味づけ、日ごろの青年部の活動を皆様に手軽に知っていただくために、また当会の会員の募集のために、当会の会員・広報が発行いたします。

また、「青嶺」については、当会寺川が発案、元々は「木が青々と茂っている山」という意味の言葉ですが、この言葉に石鎚の豊かな自然を照らし合わせ、また青年部の「青」石鎚山の別称「伊予の嶺」から一文字ずつ取り名付けました。

「青嶺」については、青年部の年間を通じた活動及び石鎚青少年錬成会の会員募集・広報のために発行します。

他にも青年部では、YouTubeによる動画投稿やInstagramなど手広

く広報を行っています。

様々なコンテンツを駆使し石鎚青少年錬成会や青年部の活動を知っていただくことで、石鎚神社という場所に興味を持って頂き、それを通じて錬成会や青年部の活動に参加したいと思っただけのような取り組みにしたいと考えております。

(問合せ 青年部 寺川迄)



青年部 Instagram は
こちらから



青年部動画投稿は
こちらから



編集後記

今年の正月奉仕は、青年部に加え、学生奉仕者の皆様の積極的な協力もあり、例年よりもすみやかな準備や片付けができ、奉仕中も皆が集中して取り組みむことができました。

今年はお卯の年で新たな成長が始まる年だと言われています。役員改選や新青年部の加入もあり、新体制に入った青年部が飛躍できるような一層精進していきたいと思えます。

最後に皆様にとって今年一年が良い年になりますよう心からお祈り申し上げます、編集後記とさせていただきます。

古賀 照子

石鎚青年部会報

(発行所) 愛媛県西条市

西田甲七九七

石鎚青年部事務局

(発行代表者) 武智正人

(編集責任者) 宇佐つぐむ

(編集) 寺川 卓

(印刷所)

(有) プリ・キユウ・プレス



霊峰石鎚山 奥宮頂上社 開門祭の ご案内

令和五年

五月一日(月)

午前十一時より

(時間に多少前後があります)

霊峰石鎚山・令和五年の
開山を告げる「開門祭」を
斎行致します。
皆様の健康と安全を最大
限に確保しつつ御祭儀を
厳修させて頂きます。ご
登拝・ご参拝の折には、ご
自宅での検温等コロナ対策
にご留意頂きますようお願い
致します。



石鎚神社HP

石鎚登山口ロープウェイ
運休のお知らせ

令和五年

四月十一日(火)

四月十九日(水)

(九日間)

右記日程にて定期点検の為
運休します。成就ルートより登
拝される皆様はご留意ください。
※詳細は石鎚登山口ロープウェイ
のホームページをご覧ください。

権宮司 十亀

石 鎚 社 報

〒七九三―八五五五

(発行所) 西条市西田甲七九七

石鎚神社・石鎚本教

【連絡先】電話(〇八九七)

五五―四〇四四 本社

五五―七二四二 FAX

五五―四一六八 会館

五五―七二八一 FAX

五九―〇一〇六 成就

五九―〇四〇八 FAX

五三―〇〇〇八 土小屋

【振替】〇二六八〇―〇一八三六〇

【発行代表者】武智 正人

【編集】高岡 健

【印刷所】プリ・キユウ・プレス

【購読料】送料共 年五〇〇円

石鎚神社 で 検索